

科目名	キリスト教Ⅰ	必修選択	必修
		授業形態	講義
担当教員	御子神 隆也 アンネリーゼ・デーケン	単位数	2
		開講時期	1年次後期
		開講学科	全学
目的	キリスト教思想に基づく人間の生と死の理解を学ぶことを通して、人生の意義や人間の尊厳について考え、人間らしく豊かに生きるための指針を探る。		
到達目標	1. キリスト教思想に関する基礎知識・教養を習得し、それについて説明できるようになる。 2. 習得した知識・教養を活かして、人生の課題に積極的に取り組めるようになる。		
履修上の注意	特になし。		
授 業 計 画			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今を生きる 2. 私とは誰か 3. 人生の意義（生きがい）について 4. 宗教とは何か—宗教が人間社会に果たす役割、宗教と科学との関係 5. ユダヤ教・キリスト教の成立／聖書という書物 6. キリスト教の世界観・人間観—創世記1、2章から 7. 人間の「罪」について—創世記3章から 8. イエスの登場とその時代背景 9. イエス・キリストの言葉と行い(1) 10. イエス・キリストの言葉と行い(2) 11. イエス・キリストの言葉と行い(3) 12. イエス・キリストの言葉と行い(4) 13. キリストの受難（十字架）とその意味 14. 苦しみについての問い—人はなぜ苦しまなければならないのか 15. 総括 		
テキスト	『聖書—新共同訳・旧約聖書続編付き』（日本聖書協会） アルフォンス・デーケン著『キリスト教と私』（聖母の騎士社） 『祈りの手帖』（ドン・ボスコ社）		
指定図書	なし。		
評価基準	①試験・小論文（70%） ②受講態度（30%）		

科目名	哲学B	必修選択	選択
		授業形態	講義
担当教員	御子神 隆也	単位数	2
		開講時期	1年次後期
		開講学科	全学
目的	正しく善く生きること（倫理）について探究するための知識を学び、人間らしく善く生きるための思考方法を身につける。		
到達目標	1. 基本的な倫理学理論・用語について理解し、説明できるようになる。 2. 物事の善悪について思考する習慣を身につけ、自己の生き方を善くすることに活かせるようになる。		
履修上の注意	研究レポートを作成するために、講義内容に関連する3冊以上の本を読むことを求める。		
授 業 計 画			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しく生きることの意味—倫理とは何か 2. 善悪の判断基準をめぐる諸説(1) 3. 善悪の判断基準をめぐる諸説(2) 4. 自然道徳律—倫理の成立根拠に関する考察 5. I・カントの道徳哲学 6. M・シェーラーの価値人格主義 7. 良心に関する考察(1) 映画「Scent of a Woman」鑑賞① 8. 良心に関する考察(2) 映画「Scent of a Woman」鑑賞② 9. 良心に関する考察(3) 討論—良心を育むための教育とは 10. 生命倫理(1)—概論：生命の尊厳の根拠を探る 11. 生命倫理(2)—初期の生命をめぐる問題（人工妊娠中絶と出生前診断） 12. 生命倫理(3)—終末期の生命をめぐる問題（尊厳死と安楽死） 13. 性をめぐる倫理—人間の性の意味と自己決定の問題 14. 性と結婚の関係（結婚の意味） 15. 総括、研究レポート作成指導 		
テキスト	なし（テーマごとに講義レジュメ、教材プリントを配布する）。		
指定図書	なし。		
評価基準	①受講態度(30%) ②レポート(70%)		